

公益活動報告書(市民活動実績報告書)(令和6年度)

(宛先)岡崎市長

令和7年3月24日

団体名 剣詩舞知清会

代表者 近藤 佐知

構成員 25人(※令和7年4月1日時点の構成員数)

団体の目的: 団体の会則・規約に定められた団体の目的を記入してください。

幼・少年への伝統芸能剣詩舞の保存・伝承及び
 高齢者への娯楽の提供・ふれあい。

私達の団体が掲げる目的を実現した活動を、以下の項目に従って報告します。
 なお、記載内容を一般に公開することに同意します。

■1 団体の活動目的達成に向けて、今年度はどのような活動をしましたか。(公益活動に限る)

活動日 又は期間	場所	公益を受けた ものは?	受益者 (会員以外) 人数※1	活動内容
6月9日	佐々木風崎	福祉関係者	300人	ボランティアのモデル(福祉利コ)
8月16日	竜美社会館	福祉関係者	300人	岡崎市福祉大会(剣詩舞披露)
10月6日	あおいホール	県文協関係者	800人	県文連 芸能大会
11月30日	高齢者センター	ボランティア関係者	200人	ボランティア連絡協議会 芸能大会
12月14日	美合カルチャーセンター	サービス利用者	30人	利用者さん達とのふれあい
1月13日	おれんじサービス	サービス利用者	40人	剣詩舞披露・体馬乗
12月2月6日 8:30~11:30	連尺小学校 体育館	小学生クラス 7人、教師	7人+担任 先生	日本刀・舞扇の基本 体馬乗 剣舞(鬼裁り刀)の体馬乗

※1 公益を受けたものが「人」ではない、数が把握できない場合は記載がなくてもよい。<ex.自然環境>

■2 前項1に基づき、1年間の団体活動で岡崎市(広く市民社会一般)に何をもたらしましたか。

剣詩舞の伝承(舞台発表)を通じて日本古来の伝統とのふれあい。
 ボランティア連絡協議会 会員さん及び福祉関係者との交流。
 サービス利用により、高齢者さん達とのふれあい。小学校への剣詩舞
 体馬乗講座。(岡崎市文化協会主導)

■3 今年度の活動の公益性を自己評価し、付随する質問にお答えください。

①公益性の度合いを自己評価してください(数字に○をつけてください)

高い ← (5) 4 3 2 1 → 低い

②上記の評価をした理由をお書きください。

小学校への体馬乗講座で、幼少年時期での日本古来の伝統
 芸能への興味づけ。又、県文連芸能大会での関係者とのふれあい。

裏面の自己診断チェックリストもご記入ください。